

福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議（第6回）

知事コメント

日時：令和2年3月24日（火）17:15～17:35

場所：危機管理センター災害対策本部員会議室

新型コロナウイルス感染症について、WHOが「パンデミック」との認識を示し、欧米などの諸外国では、感染が急速に広がり、亡くられる方が急増しています。我が国においては、爆発的な感染拡大には進んでいないものの、都市部を中心に患者数が増えています。本県では、今月14日に、二例目となる患者が発生しているところであり、こうした国内外の状況を踏まえ、また、金光先生の御指摘にもあったとおり、危機意識を持って感染拡大を抑えていくとともに、適切に医療を提供できるよう体制を整えていく必要があります。

県民の皆さんには、引き続き、咳エチケットの励行、手洗いの励行、そして、感染リスクを避ける行動など、感染症予防の徹底に御協力をお願いします。

先週19日には、国の専門家会議において、爆発的な感染拡大、いわゆるオーバーシュートが生じる可能性を視野に入れたクラスター、集団対策の抜本的な強化と、社会・経済活動への影響とのバランスを考慮し、地域ごとに感染状況に応じた対応が求められています。

こうした提言等を踏まえ、先程来、関係部局からの説明のとおり、福島県として、医療提供体制の拡大と公立学校の再開に向けた方針、県主催イベント等の今後の対応方針を定めました。

また、国の緊急対応策を踏まえ、マスクや消毒液の対応など、喫緊に措置すべき経費について、追加の予算措置を行ったところであります。

県民の皆さんの不安解消と感染拡大防止に向け、きめ細かい対応が求められています。状況は日々変化しています。引き続き、各部局が連携をし、強い危機意識を持って対応してください。よろしくお願いします。

